が多く、その設協を強く大学当局 うについて間場を必要とする場合

会の潤揚一致をもって此の退動を一校合り増改領等のため、のびのび

久昭和二十二年に水源学科が増設

委員会を組織し具体的な行動に移

委員会を組織し具体的な行動に移 号命を貼して、この問題を解決す機関することに決議し直ちに討策 になっているが、私としては断呼

騒のために御似力して頂きたい。

岩田・私はやるといったら必ずや

々木実(音座)

(林)松尾栄之(水) 專務局長佐) 山木秀雄(爲学)小関流(長

てた鉛を七つの海に走らせ本学科 化)佐藤弘一(長経) 鹿野 忠 きたい。此によって有為な学生を一委員加地正光(戦医)自山厳(音 直る我々の非順を是非かなえて頂 委員会 委員長工棚正城(拓殖)

又他の学科に於ても実験研究を行

した強い要認としてその散悩を大

は、

売分子派しており一日も早く

料出均の頭帯より、校友会の一致 本当局階とに是非必要であるとと

学に要請するよう提案が出り理事

此が実現するよう努力している。

贅成すると共に日本大学の誤をた

うことに判用し得る程度である。

わずかに 学生実習 を集中的に行 理事会に於て、農学科及び水理学

は、殆んど不可能の状況にあり、 るため研究師物として使用するに

これらの事情により、本年四月の

ました。

岩田学部基 展料・船い問題は我

状である。学科設立以来一三年に

いる。

更等のため、三回の会合を聞いて

上の実得鉛を続々建造している那

2000

生卒発生とり大学当局に要説して

究師料・実質船の股盤を望んでお

ある。

り、本日要配替を持って細順に来 すが我々校友として一日も早く研

文部省では、水理学科に一千円以 その後、精大の点につき報告、空 の学科を修得することは不可能で 工藤 校友会を代表してよろしく

御願いします。

御

挨

拶

まって以来ですので、大いに敬賀にたえない次池です。岩田新学長は、新しい理覧にたいす 学部教授会で劉琳一致学部長三選が決定しました。学長といい、学郎長三選といい、学郎初

> 草地会議に列席し得るような選び レディングで開かれる第八回国際

ります。元来欧米人は衣食住の生

にもなり途に六月六日付外務省か「活の三天柱の内、住は別として肉

藤 設 小 浙 矢

本 楽

和

基

関 原

配式化

茂

雄 淹 務

人木清劇先生の好意により 農林省 た。その際たまたま農學の先根佐 迷に役航を決策したのでありまし 祝売視疑したいと思いたった所唱

から正式に国家代数として七月十

日から七月二十一日まで平国の

る覚悟を次のように本紙によせられた。(写真は新仕の岩田学長)

一とうぞ今近以上の御理解と御文授

会田学長が学生指導所の担当学長

去る九月三十日の教授会で削料一一御推挽の賜物であったととをただ

同殿散医学部及 岩

田 耕 1/F

学館校友会の先號各位の強力なる。と覚悟している次第であります。

りました。松葉学長が部外事項、

報告させていただきます。私はか

終りに今回の外遊の経過の一端を

四国にわたる会合の検討の結果、 ることになった。

工廳。此要超过幾学科、水理學科

るつもりである。

展戦医学部当局に対し、要望署をの一学科としての要認ではなく校

金体の教育研究室の担当学長にな 人の学長と私と三人の門に学長と

しての分担がきまり私は日本大学

ります。

上の御支援をお願いする次郷であ 一本一の大学否世界一の大学にする 生を破怠補佐申上げ名集ともに日 育及研究面の全体にわたり総長先

覚悟であります。何分とも従来以

研究圃場•実習船

設置を要望

ったのはもち論であるが、同時に 職員各位の協力一致の御交揽によ ととになりましたのはひとえに数一間期的巡展期に際会していますの 学部長の栄養につかせていただく一これからは農飲医学部もいよいよ 致の御推薦を序づし不肖私が三度 | 膨敵している次郷であります。

令をいただき、更に松類、金田の!

任命されました。八月帰朝して間

推示により日本大学の学長の職に

に私の外辺の留守中に理事会の御。担であり責任である日本大学の教 をお願いする次都であります。次であります。今後私は、自分の分

もなく会頭指で総長から学長の辞

であらゆる面に衝球方の御女撥を

いただきつつ観覧努力してみたい

機器は片道三時間近くの照相にあ

を強く要謀して来た。 環沢にある 群ある毎にその実現を教員並に学 の設置について校舎より三〇分~ 而よりして、水避学科の教科学生

時間以内料度の地にこれの入手あげて機関しておることであり、

転して以来最終料では、研究団場では学生の教育・教員の研究等の 歴代校舎より現在の東京校舎に移
されて以来、
実習船の股徴につい

木事務局長であった。

松尾、山本、白山の名姿質、佐々 松尾 世界的に高度の水理技術を

出席者は岩田学部長、工座委員長 願いする次第である。

替を提出し根頭した。

学郎長に委員会代表が会見、要認 提出する。ことし六月二七日岩田

研究間場、実習船が必要であるの 友の会全部として展戦医学部には

見地から、あけて一丸となって御

工器 従来御団及びの事と思いま で実習船をもっていない魚物関係 て欲しい。



発 行 所 日本大学展献医学部 校 友 会 網樂発行者 会報発行委員会 日间所 東京商工K

するにはどうしても世界最近の展

農獣医学部長にも一

ので、一つこれを機会に世界の情

いに先数結婚の費削もあったので

ケンブリッチで開かれるローヤル に本年の七月五日から八日迄英国 と考えていましたが丁度昨年の秋 情況を知っておく事が緊張である

・ショウという英国最高の展節共

大学全般の教育・研究団を担当されることに決まりました。そのうえ、九月三十日の農飲医 適収して無事帰国されました。外亚中の七月に大学の理事会で、日本大学学長に任命され、 会館出席、ならびに欧米各国の敷育事質視線のために外遊され、八月一〇日、所期の目的を ッチのローヤル・ショウの見学、同じくイギリスのレディングで聞かれる、第八国国際互批 去る六月二十九日に本学学郎長岩田耕作博士は、イギリス最高の農蘇共進会であるケンプリ



持つ我が国において大学水理学科る。どろか私の該意と努力をかつ 学長祝賀会

甲甲

H

定

禎

盛会裡に開かる 本学校友会主催

部侄々木副会則、加斯校友会不部 り、大萩将堪島欧阪事務局長、本 工階模及会長の 挨拶で会 が始ま

加度修不部長、各学科の主任教授 学学長総任候部長二週ならびに外 校友など九十名が出席して聞かれ 不良吉即会頭はか本部校友会から 異の金剛飯店で大学本部から佐々 時より、千代田区物町英国大便館 友会の主催で、十月十七日午後六一のべられた。引きつづき初疑にう 避帰期の視費会が、農飲医学部校 本学部岩田耕作博士の、日本大一換砂のあと、校友会から記念品の 一努力して行こうという気がみられ |本学部裕展のために一致協力して 一せびならが顕微を挑行する決意を 附呈があり、岩田先田は豚浜にむ たととは大いにうれしいととであ 出席者全員和気あいあいの中に、 つり加地本会問会長の音頭で乾流

勘会長の閉会の辞で九時ごろ終了 田先生の万銭を三頭し、白山本会 【写真は盛況の祝賀会】 った。小国農猷医学院の野頭で岩

那特局長

佐々木

忠

安 北 I

保

ES.

雄

藤

TE.

城

拓短科

JII

休

地会が開かれその招請状が参った ので、その説の十一時すぎ羽田を ねがね

層獣医学部

扱の職質を完了

| らな式に

政府の命により

英国、米 出発して目的の英国へ一路向った 旅券が下聞され、また日本大学か一る春は米泉と野菜を主食とし、植 デンマーク、イタリアへの公式の 國、瑞西、仏閣西、独乙、 和關及 のでありました。 る」という部令をいただきました 視察のため欧米諸国へ出版を命ず 学会出席並びに農郷林華裔所事情 第の合理的統然に受することであ らも六月二十九日付で「国際互炸 事者の連絡と親睦とを図りてれ等 飼料作物の改良増加に関与する当 教育の普及発達を期し合せて否理 とを交換し、その科学的研究並に に関する実担の経験と最新の知識 元来この拡地会議の目的は牧野及 かれ、その後オランダ、米国、ニ で一九二七年には英国のウエール デン巡台で一九三四年にはスイス 九二〇年にはデンマークとスエー において抵初の発会式をあげ、一 かにおいて独乙のフアルケ博士が 年 (昭和二年) 世界的恐慌のさな 人の生活との間に大へんな相違が 尾に歪るまで植物依存である単洋 物性繊維と下駄、煮麹はもち輪住 及びはきものが、樹裕顕依存であ 単毛毛皮皮革の加工品である衣料 明、牛乳パター、チーズの食料と スの海岸アベリストウイズ市で開 あります。かかる点から一九一七 (Dr. P. Fallk-) 主明して独乙

この第八回の国際立地会職に日本 なっています。 onal Dairy Congress) 以の congress) 心路膜 (Internati-一つが二方年毎に問かれるように

仏、独をはじめ合計五十三万国の 王の背の砦であるエチンパラ公で 代表が振り合員総数二字に達しま 掲の二 宋氏の四人が出席していま の畜産試験場の山田氏と高雄試験 制査官の戦松先生と私の外に子葉 おりました した。今回の会長はエリザベス女 した。常加岡は英、米、ソ、日、 から出席した代製は農林省番頭局

じまり英国農林大臣の簡単な挨拶 の顔るユーモラスな研系の辞には 七月十一日午後四時エデンパラ公 があり直ちにレセプションに移り

第二日はレディング郊外の草地研 約一時間の拡設の後第一日は終り てくれた好意はまてとに感激にあ 船で下りながら十二 芬の歓待をし 者が金員天人帯向でテームズ河を ング市長夫髪をはじめ地元の有力 した。就中七月十四日の晩レディ トウに国際観察のため幾分でも関 生がいられたためでもあるがホン することを得たのはそばに敷格先 がら勇敢に世界各国人と充分飲級 のことであるが私も米勢な英朋な 西部英語の強人であるととは周知 会が与えられました。私と同行し プションの形で九時頃迄歓談の機 のお役に立ったような感じがしま ったが何れも夕刻六時頃からレセ (三面へつつく)

- 選関係の国際会議は国際欧
技会版 | 学部にも保存しておきたいと思っ 八回目の会録となっています。音 ユージーランドで馴かれ不年が第 を別にしてこのグラスランドと家 党所の開設を見学し第三日以後は ています。 発表は原則として全部英語をもっ 蝎の山田豊一氏の実験発表も十八 等に分れてそれぞれの研究発表が 料(4)育師遺伝(5)飼料の側 論文発表及討論会があり、部会は Eighth International Grassr した。いずれこれ、唇の踏論文は てすることになっていましたが稀 ました。日本代数として千葉試験 答が活発に行われ歳に有益であり ありその後に発設者に対し質疑応 値乃部飼料の貯蔵(6)牧摘経営 管理(2)牧草の(3)土壌肥 的この国際会議の余徳と申します て印刷されることになりますから (1) グラスランドの形態、牧城 land Congress Eeport 411 には独乙裕を用いたときもありま 行われ好評を呼されました。

> ats 長

秀

雄 城

原学

島 本 藤

寿太郎

主催者も肥料会社もあれば政府及 ての招待会が催されましたがその か征陥のように各国の代表に対し び地方団体などの指科等多彩であ 野 加 Ŀ 應 休 H 白 福 地 木 米 藤 島 崎 熊 B 野 貞次郎 弘 那 俊 E E 繳 速 幕 興 光 昭 夫 水 殿 次 忠

於 T 尾 築 栄 精 Z 水理学科 林学科 展察経済学

校友会役員

(昭和三十五年度)

设

名

名

出身学科 拓照科

I ĮĮ,

正

ツ、コンゴ、印度、タイランド、 し、リバノーン、スキス、西ドイ アイルランド、スペイン、イタリ ベルギー、オランダ、スエーデン ボーランド、東ドイツ、仏観四、 もちろん米国、カナダ、ソヴエト 砂袱原した相手は多数の英国人は まりあるものがありました。その一

列席した艦艇の一部でありますが

台湾野子が解以上でありまし

常に数えられる唇がありました。 ス、キャンプの秋阪大学を見て非 のカリフォルニア大学のデーヴィ ッジの影物生理研究所を見父米国 私は獣炎系統の施設ではケンプリ 以上はグラスランドコングレスに れる料権であると感じました。

た。何れの人々も日本に好意をも

も非常に多くなり、今年も父数多 勢力して来ましたが、応募学生数 校をが一丸となってその発展に 即修が併設された時には農学科と

けます。

ました。これからの模友会が協部

/学生が教質で元気に授業してお

学祭があるので、その機終目の三

日本戦医学会が本学部新館並びに

ヨンを試みました。

そして更に十月十五日には獣医

く千葉原勝山福岸にリクリニーシ 球売以って多数の新革鉾生売送り

世ました。

そして就職の方も同談諸兄の御

去る四月の六・七の両日に直り 又陸組の問題も、大学が東京に

大師気を会場として盛大に開催さ

り出した。狂校生約一百名、校友 は、同時に約七十名の卒業生を送 先繋替若が活躍していることろに よいようではちばち確定している 昨年に較べて、今年は就職家も

2007

新入生四十八名を迎えた林学科

田先生、明永先生、川村先生、中一友会のこと方数同君がやって下さ

農先生、層御元気です。

栗田先生も学生の指導に努力し

もっと立派な校友会に発展すると

ることが期待している。きっと、

端で転取などすると、後はすっか やはり続々と引かれてゆく。一番 り朝が閉ざれてしまう。先親籍署 都台のわるいのは、先繋が中途学

形友会も色々と非際を行い、食も どうか後に称く着のことを考えて 次部に大きなな、発行系統八 いるし、三頭先生、倉田先生、太れしいことである。これからは被 及の憎さんお完気ですか、今年は いている今日この頃ですが、校 プラタナスのわくら葉が底に位 ζ いよいよ本決りの段階に入り

杉浦先生も御老崎莚人健闘して り林学将に来られたことは大変う アーリスラー の万龍木材 試験機 学科のホープとして、熱心にされ の他にもラニ人、四期の片間収載 **火しい。とこに、佐々木無雄助手** き點し相手として、いつまでも若 るかたわら、いつも学生錯君のよい要である。 學本部、學部当局者と接砂を重ね 旧交を認めたい と考えて おりま 移転して以来長年の懸案になって の努力で、魔類設擬に帰して、大ですが、今年も数多く御出席報ぎ 模

友会の

工

服会

技

や

そ

の
他

の
会

登

地

力

の

力

や

御称

合

の

悪
い

方
は

残

念 おりましたが、山本会長や、層状的 君が助手亡して、との十月一日よ で下さるし鈴木先生は相残らず林 林学科 0 近況 も昨年と同じ会員の宗仮常繋家で しても校友誘君の大きな協力が必 用されているが、遺杯学研究館に 林学研究壁として、林学専用に使 軽付研究第、下の非六実験策が過 とを付じているが、これにはどう 明依する事となりました。週頃な (七〇万円)、昇降線や手押倒が 本館の三幡に林朗研究第、林築 . h.p. の機能を多く送ってくれたまえ。 たのみ注す。(加機記) し、きのこ類も沢山出ていること であろう。私も近々出かける学定 利根の上流も紅葉しているだろう 校及誘着、どろが林学科に誘着

農学校友会だより た として 活躍される事と なりまし 転出されましたので松村氏がなり に決り、三期の野和山本氏が栄転 生天目 (ナマタメ)、野中の向氏 ことと思います。 市川氏の後任に置川氏が失み斡導 中期料原氏の後任は未定、十二期 本年卒節した第十四期の幹事は

回の総会を迎えるまでになりまし

昨年度、農学科の中に農業工学

日に第八回秘会を大学で、糖料会 において本会々長より萎噛される のより一般の御尺力をお願い申上氏が転任され遠端の地に行かれた 今年も十一月一、一、三百に大 四期の玉木氏が理事に内定致しま した。又新たビ熊査役三名が総会 ため、九月二十八日の松質会で、 本会の班事であった十期の税関 会事務局までお知せ下さい。 務先の変更のあった方は農学校友 歌が多く、会員の皆様の住所、動 神を作成致しましたが、金質の県 昨年十一月に層学校友会大員名

くれるから、希望者は当方に一応 入り、設備も大分祭った。是非一 三郎君がいつも留守番をしていて 門林は頻気らずであるが、板不能 度見にきてもらいたい。水上の調 遊絡の上、御出かけ下さい。 もう 然の最終日の十一月三日に穏頼の ぶ
郭してしまうと仲々よい機会が 迄の問酬きます。 パーティを午前十時から午後五時 〇隣暮葉金では例年の通り学部

昭和三十三年四月に大学院廃学科した。

新品道師、佐根繁雄、岡本正行

大学院の担当教授は、

佐大木清網

岡本教授、大江助教授、海老講 例年に比べ大体最近た傾向で十月

中旬現在、三十%程度が確定文は

否が経典の研究生です。

乳加工研究第一福島教授、大木

食肉加工研究第一新原酸嚴數授

況よりすれば特例を除いては明看 四定している、 その主な政職党は

の脱皮を行って新進の万々に活躍 模友の出席を頂いて大いに購し会 の改正、会計報告などですが多数 の主なものは、役員の選任、会則

三月近に大体採定する見込です。 内陽係の加工会社、飼料会社で現

〇名簿整備について

〇湾暮葉会の会合について

一唯…一百世物利用研究第一次川

〇研究について

なくむ互同しの状況を精し旧交を 番画学専攻の修士総科が設備され その第一回の修了生が本年三月目

暖めるよい折ですし、又色人の題 しょう、是罪御参加下さい い出を呼び起すよさかともなりま

O大学院博士課程が殺魔されま をつけることになりました。 に加工期程も認可になり新制大学 出度その緊を終えましたが、同時一新館(昭和三十四年十月朝工)一 の番頭科に於ては私立でその先鞭・軟は名は次の通りです。

30

になっています、又食質は不要で

原知として御歌族何保ということ

一生の郊の取削までのお元気なお姿 たが、壹号十月一日付を以て助野 核水金としても、多年の宿願であ 設皿のため急班されました。故先 本学に残り、学究に励んでいまし が去る九月十四日間尾において脳 答をかたむはられた質量で学生開

卒業生の方々

家畜飼養が第一研究第-斎屋道 十一月二十五日 (金) に総会並に

必要が大きくなってきています。

郷帽を進めています。会発足以来

たら必ず単務問長処御器結下さい 住所、動籍先等の変更があり主し 会員が増加するにつれ名母姦貨の して貰いたいと思っています。

多

防門所、地下に別れ、その所名と 地下一家商銅賽學書 研究第一

30 (七期帝) は卒葬後研究生として、粒々と薬門船の実現に近づきつつ 促進対策委員会」の活躍により、

畜産学科の

で裂似の意志要する次類でありま であったことを思うとほー 情別の情に耐えません。 弦に添ん 期待されます。 ☆ 本年五月に学部根友会に設置 に任命されました。今後の活躍が ☆ 来る十一月一日から二日間、 された『実習船並に研究観測設置

水面影動学及び消滅学を調整され

昭利 干九年 (四朔生) 以来

での温度な人柄と学芸御研究の種

青り、水理学科として、またわが

類するものである。 各位の御尼力を鳴わらることを切 ることは滅に容はしく、切に関係 日も近いのではないかと期待され る集団船が、大洋に角姿を拥わず

水龍增殖研究部 軽い概要は次のとこくである。 桜水会だ より 『サケ・マスの簡具摘法』を主

> 果を発設すべく、日校野力を興ね ☆ 学生一同は平器の部活動の成

界の尖端をゆく研究成果の歴示 が注目されるであろう。 変技が機嫌資源の利用と現在基 扱い、他に冷凍食品、魚肉ソー 『サケ・マスの加工』を大きく セージ、抱張食品の細菌学的機

けているのが特異しある。展示内 テーマとして鮮動の間郷を取り上 度の水源学科の各研究部では統一

添製研究部

PO'S

加えながら一大パノラマで展示

ナギ中の整弦についての解説を ーマで淡水区から海洋区迄をウ

水面製造研究部

期待される。

恒例の学郎祭が行われるが、本年

〇就職状況

木清朝教授、会社教授 四陽…家畜門類學研究館—佐內 **鄭教授、佐々木精節**

家裔繁殖学研究第一环川助教授

そろそろ交代の時期に来ていると

思っています。この総会での諸葛 士三年もの月日も立ち、執行郡も 懸乳会を聞く予定で事務局として

の他に『魚類の生息区分による 『サケ・マス生活更について』

供想と種類についてこというテ

たサケの即売を計画しており、 採機等の展示を行う他に、新鮮 いての解説、海洋観測器具、 題とし、他に代表的な機器につ ある。 御教示が問んわら事を行うもので 多数御来場の上遊切なら御批判、 ている。桜水会各位におかれては

期記

を確実にモノにしようと学生は真 算に弾るまでめぐり来るチャンス いった一、一流どころから中小企 特に不足はなく、粃糠に忙しい四 年生は別としても三年を中心に着 が見三化学は総巻三首人に歩く手 構と個べん場をお照い致しておき

人機個中である。展示内容の主な 支那大会が本学部で聞かれる。と 尽力がみのったもので本学部とし り万澄湖なきよう教員一同目で増 れは雌化会会長である森先生の御 ても化学関係の学会は始めてであ 十一月十二百 (土) 歴化会制度

といえる。一記会社の正規の入社、り学生の理想も高く、中小企業は、ものは各種土螺部の展示と解説、 は指心と、狭定するものと、題われ、整問題、食品総加物、修母の製造 応募者なしという例が多い。すでアイソトープの肥料学への利用、 に決定、内定した者もいるが全員 レシチン、エルゴステリンの分離 農芸化学科だより に販売部門で農原加工品を売ると いった次第二先報情様の多数御来 乳酸菌の分離といったところ、他 新しい食品類の分析、日本人の栄 民は図暦第でカンタンな会費が予 プドウ糖についての特別講演と 数御米橋下さい。 定されている。校友で関係方面の 根據尚、午後シンポジウムがあり 方は新校役見物の意味も含めて多 **博に張り切っている。
当日午前中**

近に採申し大会社数社の受験権利

(す) を残ってどれにしようかと

所で劉龍中だが投稿落は二十日昭 試験は十月一日を皮切りに目下各 は世の好景気を反映して毎年好転 と年部祭にしぼられる。脱版戦級

秋が来ると大学内の話題は脱職

しつつあり今年は例年になくよい

郷である。しかしまた千月でもあ

虹をかかえている学生もいる。

公解、教授の世話あるいは各人

一十五名であるからを明け埋々に

金融催 題題、(1) 前年度会計報告、

機関事弊について。 経合の日程、会議の決定、 (2) 本年度子旗の常観、 33

根友四名が研究策を訪れ、先生方 と疑談した。 六月十日一農部会談に動物する

つものばかりでありました。かか一による売報敷布の大規模な施設に「最後に私は先述国の長所心見聞し 対してはアメリカならではの概を 社様生活の実際にかけはなれた事 一語しく社会生活の実際に頂荷して に無駄な投資を避ける傾向が顕著 価値あるものの研究に知点をおき に対し米国系の大学及び研究所は しい元点をおくのが特色であるの 一般的に基立版調は基礎科學に審 まればならない上裏えています。 本大学よき農林医学部の残損に組 国の長所を所放により 外関の空から眺めてハッキリ認識 てきたが回時に祖國日本の長所を く日本国の長所を把握しつつ先進 数域員各位への機局問題のためよ することが出来ました。それと同 石穏んで御挨拶中あげます。 ができました。今後校友各位並に 時に日本の領所をも認識すること

たが朝い我が欧医科は九四%の高。せんが先にお知らせした浦り藤林、と観覧を訂る茂谷です。 教授障容には余り変励はありま 学科の教践を派遣名曲の問題情兄

敷料でゴールデンウィークの一日 会主他のもとに新人生の歓迎会を

所生学が必須なかなかの戦困でし

本年度の国家試験は新たに祭畜 吸の役お願い申上げます

芸な地とりがあり大へん好解を たが、今回の会場は各数額、ファ 包が会場でしたが、会員の増加に

日射しを一杯に浴びて、珍鶴投続

出、抱股船債、心から一間楽しみ 紙上をお借りして厚く御礼申上

変節会が催されております。

群馬・千葉・秋田・新潟等艦大に に做されております。既に宮城・

き度く存じます。出来るだけ歌医

是非その節は木部郊柳通知を戴

回会の動向

けるに共に今後共何分質しく御叉

ン町番用プラインド付で、且つ

次に本年も欧医学科並びに検友

れて会場が手狭に感せられまし

卒率生・学生一体となって、秋の ど、傾しい想唱を あげて おりま した世田ヶ谷公園顕技場で敷職機、戦きながら、御期待に添えないほ 学科観楼運動会の名のもとに、管 支援により昨年度に引続告始んど

てす

最後に最近各地で支部会が折距

た。帰朝は来年四月頃になる予定 る十月十二日羽田を出発されまし 英夫教授が欧米裕学を命ぜられ去 概されております。又穴期の棚谷 第)が正式にこの四月から対任請 行動生試験器の常包正氏(四期卒

獣医学科校友

会便り

例年春の学会は東大農経部の講

ての駒嶋組長鍋の跡に衝しく誕生

完全就職で、折角の求人の通知を

を記述代析「弱丸」に乗って楽し

一面岩田学長挨拶つづき)

る情景は国際会議のみに於て味わ

ひとしお望くしました。

L

局、各科校及会幹部と本会員との及び子算の搭載、つづいて大学当 年度洋算の派院、本年度事業計画 六月二四日-定時総会及び類類会 開催、毎日旦京会館において、前

監査及び昭和三五年度第一回幹事 五月二五日—昭和三四年度会計 資金の募金について一般发名位の 額達成にもつ一息ですので、また 機能会が行われた。 一万九百十五円築りました。目標までお知らせ下さい。 御協力により、十月一日邦廷で十 ⑥機岸教授遺曆記念論文集出版 たので、校友会から記念語を助り

た方、及びこれからの方は春務局

御祝い出しあけた。尚娥近結ばれ 四期)の結児が頭塊の典を挙られ

和整修、ミヨシ油館、三級酒遊と、年であり各科大いに襲切っている

組合切脳大学教授養土路選夫両氏の予定、校友多数の添加を思む。

(高坂記)

0

800

8.000

西郷、太陽油脂、日本バルブ、協 世洋研糖、片食チッカリン、昭和 の線成で受験する質目、不一展、

学部祭は新校舎完成後始めての

Z

成福は別数の通りです。 一(九期) 奈及茂助(期) 秋沢一 (の言報-松下久 (七期) 経淵安

t づる会だより

報(十周) **京**沢寿樹(十一期) 吉 上街線会は三日午後一時より、 の方の御路力を切譲致します。収 村光雄 (十一期) 金光暮太郎 (十 人明細と名類ごとの目標類及び遠 部名が十一月一十三日まで行われ 討論会を計画しております。隣領問題について」の展示と議論及び 師は武原大学教授近顧康男、協制 主丁。原経学科では「機関の基本 の学務祭の行事予定ー何例の学

7E

記念品をお送り致しますから

出版募金の募金現況 総収入

120, 91514 明細 1. いもづる会 30,000円 2. 校友寄附 83,600 7,000 3. 校友外寄附 315 目 標 類 12,000円 6,000 in 52 53 53 1,000F 13,000円 +-----2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 7.000 30.000 23.000 11.500 22.000 13.000 17.500 8,500 2,000 24,000 15,000 2,000 6,500 4,000 7,000 4,000 4,000 6,000 9,000 5,000 9,000 5.000 4,000 9.000

11.000 7.600

6.800

11,000 7,500 7,600 9,200